タイトルがここに入ります（MSゴシック14pt）

周東町〇〇〇　執筆者名（MSゴシック12pt）

本文がここから始まります。

以下、この本文のスペースを使って注意点を説明するので、これに従ってください。

このフォームは予め以下の注意点に沿って作っていますので、これをそのまま使って本文を作成すると便利です。なお、ファイル名を変更するなどにより、このフォームのデータを上書き保存しないようにご注意願います。

■レイアウトについて

　レイアウトはB5サイズで横34文字×縦34行に設定してあります。

上下右左それぞれ余白を2cmとっています。図の配置などにより、これより外に出ないようにしてください。もし、外に出ると、冊子の綴じしろの関係で図が欠けることがあります。

■フォントについて（見出し等強調はMSゴシック、本文はMS明朝かMSP明朝）

フォントは基本的にMS明朝かMSP明朝を本文に使用し、大きさは11ポイントです。

もし、本文に小見出しを付けるなど、強調したいときは、MSゴシック又はMSPゴシックを使用してください。

「B」ボルド機能によって文字を太くするのは禁止です。印刷製本したときに文字が潰れてしまいます。

　ワードアートも使用禁止です。データを印刷用に変換するときに、予期せぬ変化が起きることがあります。

　なお、MSかMSP以外のフォントを使用したいときは、以下のものを使用してください。

　DFやDFP・DFG等のDFフォント、小塚明朝・ゴシック、游明朝・ゴシック

■ページ番号について

　ページ数は入れないでください。全体を編集した後にまとめて入れます。

■箇条書きの番号について

本文中の箇条書きの番号は、冊子全体の章立てと混同しないように、①②③という丸囲み数字を使用してください。①②等のそれぞれにも箇条書きを入れるとときには、a.b.c.又は「・（中黒）」を使用してください。

写真や図は自由な場所に貼ってください。

特にこだわりがなければ、この位置にお願いします。

写真周辺の文字列の折り返し（レイアウトオプション）は「上下」を基本にして、位置は固定します。

なお、「四角形」等により画像の左右の余白に文字が回り込んでも可です。この場合も位置は固定です。

※禁止事項

写真の周囲をボカしたり、枠や影を付ける等の演出は禁止です。印刷データに変換できないことが多々あります。

写真のキャプション（説明書き）はこのテキストボックス（枠なし、上下余白ゼロ）を使用し、フォントはMSゴシック又はMSPゴシック。サイズは10、行間は14ptに固定です。レイアウトオプションは「上下」で位置固定です。

また、見出しの前等に■、○、◎、●、▼等を使用しても効果的です。

■文字数について

基本的に2ページ（1見開き）毎の編集になりますので、特別な場合を除いて、各自2ページ（1見開き）に収まるように作成してください。

　このフォームのまま、写真も同じサイズの場合、1600～1800字程度になります。写真の大きさや枚数の調整、MS明朝かMSP明朝かにより、文字数を調整することができます。

■注意事項のまとめ

①指定のフォント以外は使わない

②フォントの「B」ボルド機能は使わない

③B5サイズで上下左右の2cmの余白からはみ出ない

④写真・図やその説明書き（キャプション）等のボックスは固定する

以上、よろしくお願いします。